

学ぶ意欲を育むために

～「平成28年度学習意欲に関する調査研究」結果から～

今、学ぶ意欲を育むことが求められています。

当センターでは、県内の高校生に対して実施した質問紙調査の結果を基に、学習意欲に関する調査研究を行いました。今回の調査研究の結果、各教科等の授業やキャリア教育、普段の生活等の中に、学ぶ意欲を育む多くのヒントがあることが分かりました。そこで、このパンフレットでは、高校生の学ぶ意欲を育むために有効な教育的環境や教師の関わり等を示していきます。

調査の概要

質問紙調査（学習と生活に関するアンケート）

- ・実施時期：平成28年 6 月～ 7 月
- ・対 象 者：栃木県内の県立高等学校から抽出した10校30クラスの生徒1,184人
- ・質問構成：学ぶ意欲を把握するための質問（28問）
授業の様子・キャリア教育・生活状況等に関する質問（23問） }（合計51問）

※質問項目と集計結果は当センターWebサイトに掲載しています。

分析

質問紙調査で把握した学ぶ意欲と、授業の様子・キャリア教育・生活状況等に関する各質問との相関を分析する。

学ぶ意欲の把握

今回の調査研究では、学ぶ意欲を把握するために、「学習に関するアンケート」（平成23年 栃木県総合教育センター）を使用しました。「学習に関するアンケート」を実施することで、学ぶ意欲の状況を下表に示した構成要素に着目して把握することができます。

学ぶ意欲の構成要素

レベル	構成要素	解 説
認知 ・ 感情	おもしろさ・楽しさ	結果に依存しない感情で、失敗したとしても感じる事ができ、知的好奇心が活性化していれば得られる感情。
	有能感	学習行動がうまくいったとき、成功したときに感じる事が多い感情。ほめられることにより、高まることがある。
	充実感	向社会的欲求に基づく動機が達成された場合に感じる事ができる感情。
学習 行動	挑戦行動	今よりも少し難しい問題に挑戦する行動。
	協同学習	友達と協力して問題を解決する行動。
	深い思考	問題の解決法を複数考えたり、よりよい解決法を考えたり、仮説や考えを自分なりに吟味したりする行動。
	情報収集	主に知的好奇心によって、興味・関心のあることについて情報を集める行動。
	自発学習	自ら進んで学習に取り組んだり、計画を立てて学習をしたりする行動。
欲求 ・ 動機	独立達成	できるだけ自分一人の力で問題を解決しようとする行動。
	知的好奇心	未知のことや珍しいことに興味・関心をもち、それらを探究したいという欲求。
	有能さへの欲求	より有能になりたい、より賢くなりたいという欲求。
動機	向社会的欲求	社会や人のためになりたいという欲求。思いやりの気持ちとも関連する。

学ぶ意欲はどのように育まれるのか



学ぶ意欲を育むために、授業をはじめとする様々な場面で、教師は生徒に対していろいろな働きかけをしています。生徒の実態に応じてより効果的に働きかけるためには、学ぶ意欲を構成する要素や学ぶ意欲が育つプロセスに注目することが大切です。

上の図は、学ぶ意欲の構成要素や学ぶ意欲が育っていくプロセスを模式的に表したものです。学ぶ意欲を育む上で土台となるのが、[安心して学べる環境]※です。学ぶ意欲が発現するプロセスには、欲求・動機レベル、学習行動レベル、認知・感情レベルの三つのレベルがあります。

例えば、[安心して学べる環境]のもとで、欲求・動機レベルの[有能さへの欲求]が高められると、[自発学習]や[挑戦行動]などの具体的な学習行動として表れ、学習行動レベルで何らかの成功体験を味わうと、その結果として、認知・感情レベルで[有能感]を感じるようになります。この認知・感情は、新たな欲求・動機や学習行動につながります。このように、[安心して学べる環境]のもとで、欲求・動機、学習行動、認知・感情が循環し学ぶ意欲が育っていきます。

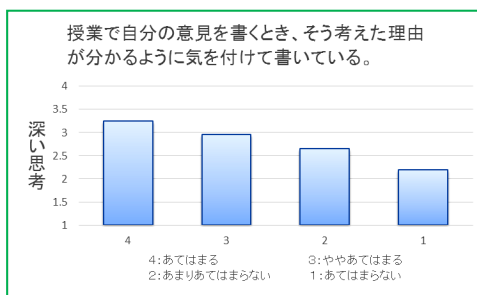
したがって、学ぶ意欲を育むには、欲求・動機、学習行動、認知・感情の各レベルにおける教師の意図的な働きかけが重要となります。

※ [安心して学べる環境] は、学ぶ意欲を育む上での土台であり、学ぶ意欲の構成要素と同様に大切なものです。そこで、本パンフレットでは、学ぶ意欲の構成要素として示すこととします。

授業の様子に関する質問と学ぶ意欲との関係

授業の様子に関する質問と学ぶ意欲の構成要素との相関を調べたところ、次のようなことが分かりました。

右のグラフにあるように、「授業で自分の意見を書くとき、そう考えた理由が分かるように気を付けて書いている。」という質問に肯定的に回答している生徒ほど、[深い思考]に関する質問にも肯定的に回答しており、強い相関があることが分かりました。この質問は、[深い思考]以外にも、次に示す学ぶ意欲の構成要素との間に強い相関が見られました。



授業で自分の意見を書くとき、そう考えた理由が分かるように気を付けて書いている。



知的好奇心

有能さへの欲求

向社会的欲求

深い思考

他にも、授業の様子については、以下の質問で学ぶ意欲の構成要素と強い相関が見られました。

授業では、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりすることが多い。



安心して学べる環境

挑戦行動

有能感

体験したり実物を使ったりする授業が好きだ。



深い思考

おもしろさ・楽しさ

充実感

授業の最後に、その時間何が分かったか、何ができるようになったかを振り返っている。



知的好奇心

自発学習

挑戦行動

深い思考

おもしろさ・楽しさ

有能感

そこで…

学ぶ意欲を育むために、授業の中で次のような活動場面を設定することが考えられます。

1 自分の考えを表現する活動

- ◆ 課題や発問を工夫することで、根拠を明確にして自分の考えを論述させます。その上で、根拠が十分であるか、筋道を立てた分かりやすい説明であるか等の観点から、自分の意見や考え方を振り返らせることが大切です。
- ◆ 他者の意見に触れる場面を設定し自分の意見を確認させることで、生徒が自信を持って自分の考えを発表できるようになります。

2 体験活動や実物を使った活動

- ◆ 体験活動や実物を使った活動を通して疑問を持たせることで、学習への動機付けを図ることができます。

3 見通しと振り返りの活動

- ◆ 授業や単元のはじめに適切な目標を示すことで、学習に見通しを持たせます。
- ◆ 学習して分かったことを論述させたり、分かったことを活用して問題を解かせたりして、授業を振り返らせることが大切です。

コラム 普通科に在籍する生徒については、「体験したり実物を使ったりする授業が好きだ。」という質問と[知的好奇心]との間に有意な相関が見られました。体験や実物の使用が、学ぶ意欲の喚起に効果があると考えられます。

キャリア教育に関する質問と学ぶ意欲との関係

キャリア教育に関する質問と学ぶ意欲の構成要素との相関を分析した結果、強い相関が見られたものを次に示します。

自分の興味や関心、長所や短所などを把握した上で、将来について考えている。



有能さへの欲求 自発学習

学校での学習を自分の将来と結び付けて考えている。

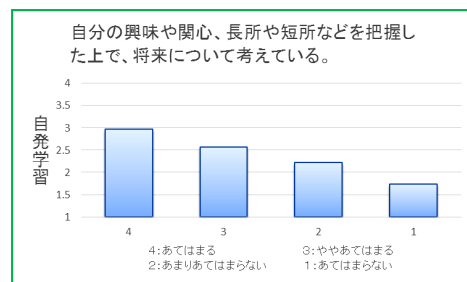


知的好奇心 有能さへの欲求 向社会的欲求 情報収集
挑戦行動 深い思考 自発学習 おもしろさ・楽しさ

インターンシップ（中学生の時の職場体験等を含む）を経験し、働くことについての考えが深まった。



向社会的欲求



そこで・・・

学ぶ意欲を育むために、次のような点に留意してキャリア教育を推進することが考えられます。

1 キャリア・カウンセリングを通じた個別の支援

- ◆ 生徒一人一人の生き方や進路、教科・科目等の選択に関する悩みや迷いを受け止め、適切な支援をすることで、自己の可能性や適性についての自覚を深めさせることが大切です。
- ◆ 適切な情報を提供しながら指導援助することで、生徒が自らの意志と責任で進路を選択できるようになります。

2 学びの大切さに気付かせる機会の提供

- ◆ 学ぶことの意義や学習内容と職業との関連について考えさせます。その際、ホームルーム担任だけでなく、各教科・科目担当など多くの教員が関わる必要があります。

3 インターンシップの活用

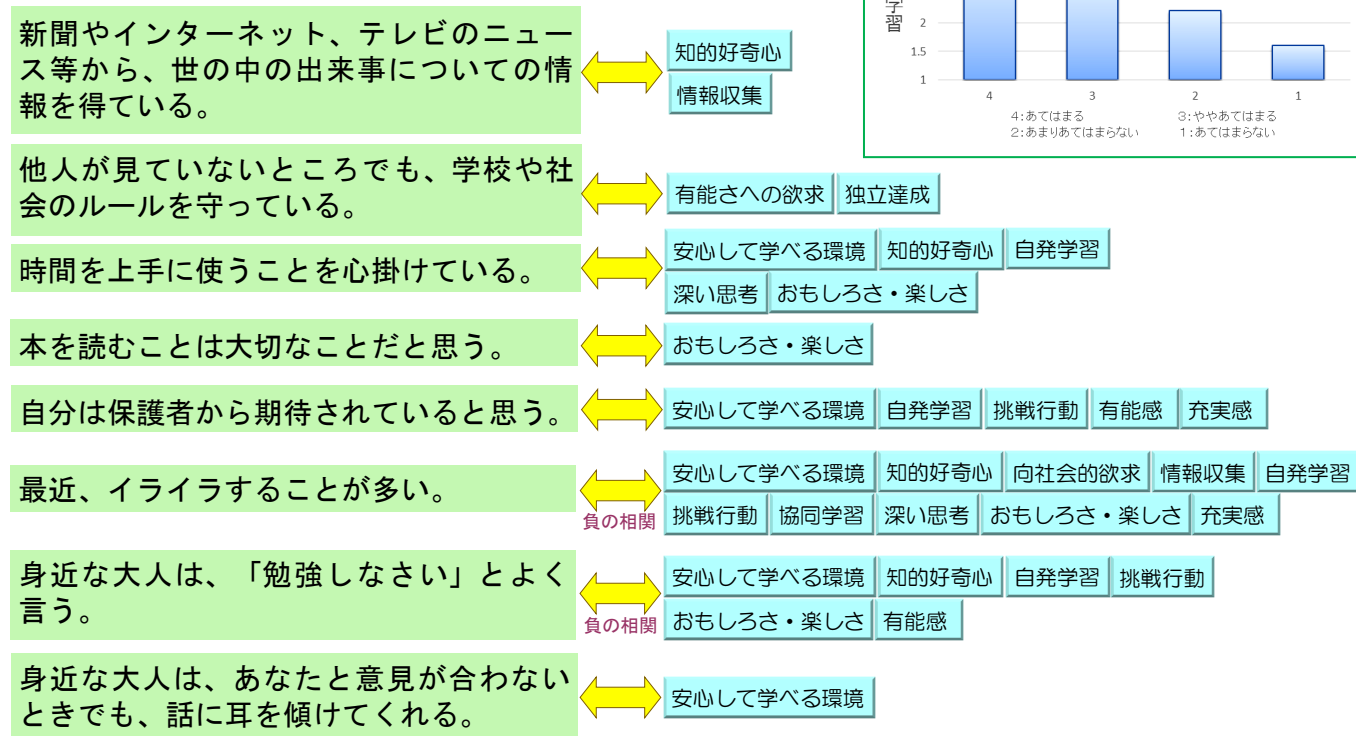
- ◆ 事前に体験する職業について調査させたり、体験先の選定、依頼、内容の交渉等を生徒自身に行わせたりすることで、生徒の主体性を育むことが期待できます。
- ◆ 実施後は、ホームルームや学年・学科内での発表会等によって情報を共有させるとともに、生徒の進路目標を確認することが大切です。

コラム

専門学科・総合学科に在籍している生徒については、「自分の興味や関心、長所や短所などを把握した上で、将来について考えている。」と「深い思考」との間に、また、「学ぶことや働くことについて、職業人の体験談等を聞く機会がある。」と「協同学習」との間に、それぞれ有意な相関が見られました。キャリア教育と深く関連している内容を学んでいる専門学科・総合学科の生徒にとって、自己理解をした上で将来について考えたり、職業人の話を聞いて自身の生き方を考えたりすることが、より深く考えることや共に課題を解決することにつながっているのではないのでしょうか。

生活状況等に関する質問と学ぶ意欲との関係

生活状況等に関する質問と学ぶ意欲の構成要素との相関を分析した結果、強い相関が見られたものを次に示します。



そこで・・・

学ぶ意欲を育むために、次のような視点を持って指導することが考えられます。

1 生徒とじっくり向き合う

- ◆ 傾聴、待つ姿勢を大切にして、共感的に生徒と接することで信頼関係を築くとともに、生徒の内面の把握に努めることが、学ぶ意欲を育む上での土台となる「安心して学べる環境」を作るために重要です。

2 規範意識を醸成する

- ◆ 生徒によるルール作りの場を設定し遵守させることは、ルールの必要性を理解させるとともに、ルールを主体的に守ろうとする姿勢を身に付けさせる一助となります。

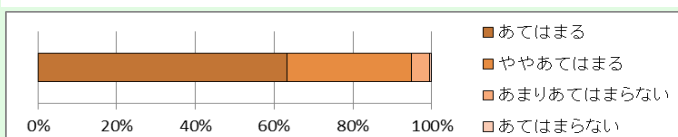
3 生活を自己設計させる

- ◆ やるべきことの優先順位を決めて生活をさせることで、限りある時間を有効に使うとする意識を育むことが期待できます。
- ◆ 家庭学習の課題を工夫することで、世の中の出来事や読書に対する関心や、生活を自己設計しようとする意識を高めることが期待できます。

コラム

右の質問に対しては、9割を超える生徒が肯定的に回答しました。今、他者との協働、学び合いなどが求められています。本県の高校生には、その素地が備わっていると言えるのではないでしょうか。

いろいろとアドバイスしてくれる人と付き合うことは、自分にとって大切なことだと思う。



まとめ

今回の調査結果から、学校や家庭における様々な場面に、学ぶ意欲を育む多くのヒントがあることが分かりました。

各教科等の授業
中で（P.3）

キャリア教育を
通して（P.4）

普段の生活
中で（P.5）

学校や生徒の実態に応じて、「各教科等の授業」「キャリア教育」「普段の生活」のどの場面で、どのような働きかけを行うかなど、指導の方針を検討し実践することが大切です。

御活用ください

学ぶ意欲を育むためには、学ぶ意欲のプロセス（P.2参照）に着目し、各構成要素に意図的に働きかけることも大切です。以下のアンケートや分析ツールを利用することで、生徒の学ぶ意欲の状況を把握することができます。

栃木県 学ぶ意欲 調査研究

検索

学年に関するアンケート		年 組 別			
あなたのような気持ちで学習しているのか、正直な気持ちを教えてほしい。 それぞれ、4つのうちから最も当てはまるものを1つだけ、○をつけてください。		1	2	3	4
1	授業では、先生の話を聞きます。	1	2	3	4
2	もっと学びたいと思う時があります。	1	2	3	4
3	毎日、明るく元気に生活しています。	1	2	3	4
4	よくわからないことは、わかるまで聞きます。	1	2	3	4
5	いろいろなことを学ぶことは楽しい。	1	2	3	4
6	勉強のことは嫌いです。	1	2	3	4
7	テストが近づくと、自分でも勉強を頑張ります。	1	2	3	4
8	自分が持っている能力を最大限に発揮したい。	1	2	3	4
9	授業のめいめい内容が面白いです。	1	2	3	4
10	勉強では友達から教わりたいと思う。	1	2	3	4
11	授業では友達と話し合っています。	1	2	3	4
12	先生は学習のことについてほめてくれる。	1	2	3	4
13	今までよりも、むずかしい問題に取り組むことが多い。	1	2	3	4
14	毎日の生活が充実していると感じている。	1	2	3	4
15	もっと学びたい。	1	2	3	4
16	授業では友達と話すことで、より深く考えることができます。	1	2	3	4
17	できるだけ自分ひとりで問題を解決しようとしている。	1	2	3	4
18	授業では夢や希望について話しています。	1	2	3	4
19	自分から勉強に取り組んでいる。	1	2	3	4
20	むずかしい問題に当たると、よりやる気が出る。	1	2	3	4
21	授業では友達と教えたり、教わったりすることも多い。	1	2	3	4
22	わからないことがあると、いろいろな方法で調べている。	1	2	3	4
23	自分は勉強が好きです。	1	2	3	4
24	勉強しても学ぶことはおもしろい。	1	2	3	4
25	勉強がよくなると思うことは、わかるまで聞きます。	1	2	3	4
26	むずかしい問題に当たっても、自分一人では先生や友達からの助けは求めない。	1	2	3	4
27	クラスは「学習」しやすい雰囲気です。	1	2	3	4
28	いろいろなことがある。	1	2	3	4

※この質問にも1つずつ○がついている場合があります。たしかめてください。ご協力ありがとうございます。

* MENU *

① 調査回答を入力。

第1回目の調査回答を入力

② 印刷をする。

調査結果の平均値を印刷する

調査結果のグラフを印刷する

個人個人の調査結果を印刷する（個人ごと）

個人個人の調査結果とグラフを印刷する（個人ごと）

学年ごとの成績のグラフを印刷する

質問ごとの結果を比較する

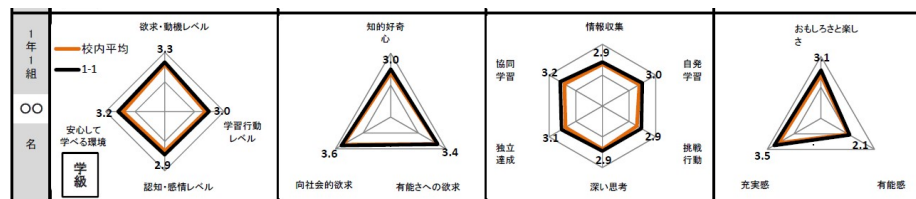
※マクロを有効にして使用してください。

※Excelファイルの形式でダウンロードする際にデータの形式が変更される場合があります。

分析ツール

アンケートと分析ツールは、当センターのWebサイトからダウンロードできます。

アンケート結果を入力することで、下のような分析を学校、学年、クラス、個人ごとに行うことができます。



例えば、こんな手順で校内研修を

当センターWebサイトから、アンケート及び分析ツールをダウンロード

アンケートを印刷し、LHR等の時間を利用して実施（約10分）

アンケート結果を分析ツールに入力

学年で（学科で、教科で）指導方針を検討・共有
分析結果から学年や各クラスの傾向（強さ、弱さ）を確認し、強さを伸ばし、弱さを克服するために、どの構成要素にどのように働きかけるかを検討・共有する。

各授業等で実践

共有した指導方針に基づき、各授業等で実践する。

一定期間後、再びアンケートを実施し変容を分析

学年全体や各クラスの分析結果を印刷



栃木県総合教育センター 研究調査部

TEL 028-665-7204 FAX 028-665-7303

E-mail: kenkyu-c@tochigi-edu.ed.jp

Webサイトを御覧ください。

本パンフレット、質問紙、集計結果を掲載しています。

http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/manabuiyoku_h28/

